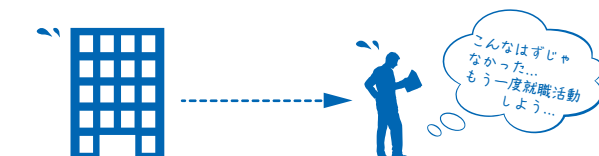


はたらく「ノウハウ」 ～長く働ける職場を探すには～

なぜ入社後すぐに辞めてしまうのか？

就職や転職をした後、すぐに辞めてしまう人がいます。一生懸命就職活動をして、決まった企業をすぐに辞めてしまうのはもったいないことですし、次に就職活動する時、どうしても履歴書の職歴欄に記入する項目が増えてしまいます。採用側にとっても、もう一度求人を出さなければならぬ等、離職者、雇用者ともに不利益なことであるということは明白です。

入社後早期退職する理由として、「職場イメージが違っていった」「自分にはその仕事が向いていなかった」「職場での人間関係がうまくいかなかった」など、様々なものが挙げられます。今回は、できる限りこうならない為にやっておきたいこと・できることをお伝えしたいと思います。



こうなる前に!!

企業で長く働くための3つのポイント

①応募前にとことんリサーチ

職場イメージが違っていった、あるいは業務のイメージが違った、というギャップを減らすためには、その業務のイメージを高めることがポイントです。自分が就こうと思っている職種・業種のことを書籍やインターネット等でリサーチして、情報を集めておくと良いと思います。もちろん、応募先企業の研究は必須です。可能ならば事前もしくは面接後に職場見学をさせてもらい、その企業で働くイメージをよりリアルなものにしましょう。

②とにかく続けてみる

仕事の「向き」「不向き」は、人の自信で大きく左右されるものです。自信というものの多くは「成功体験の積み重ね」から形成されるものです。最初はうまくいかない事や失敗する事もあるでしょう。重要なのは失敗から学び、次に成功させることだということはいくつも言われていることです。こうしてできた成功体験が積み重なり、自信を生むのです。

つまり、とにかく「続けてみる」ことが大切なのです。数週間から2、3カ月でうまくいかないからといって諦めるのは早計です。長く続けているうちに自分の「向き」「不向き」がわかってくるのではないのでしょうか。

③「人」を意識して面接に臨む

同じ職場で働く人と合う・合わないかどうかは実際に配属されるまでわかりませんが、企業全体の人間の雰囲気というのはある程度事前に知ることができます。体育会系の人が多い職場や、もの静かな人が多い職場などがあると思いますが、それらは面接時などに「どんな人が職場に多いのか」など質問してみることでわかることもあります。会社の規模によっては面接官がそのまま上司になるケースもありますので、「面接官との相性」も意識して面接の場に臨むと良いでしょう。面接に行った企業内ですれ違う人に対しても、「この人と一緒に仕事をすることになるかもしれない」という目線で人間観察をしてみましょう。

“急がば回れ” も悪くない

採用選考ではどうしても「早く就職を決めたい」と焦ってしまいがちですが、“長く勤める”ことを考えると、じっくり取り組むのが良いと思います。採用選考時に応募先企業に対し「何か違うな...」と感じたら、「見ること」「聞くこと」「調べること」で不安材料を取り除いていきましょう。もちろん入社してからでなければ分からないこともありますし、企業側にも情報開示や離職しにくくする取り組みが求められますが、求職者側ができる限りイメージと現実のギャップを小さくすることを考え、行動することが「長く働くためのカギ」になるのではないのでしょうか。

西宮市若年者等就労支援事業

西宮市しごと相談室

月曜日～土曜日 10時～20時
(休日・祝日・年末年始除く)

〒662-0912

兵庫県西宮市松原町 2-37 西宮市立勤労会館 1 階

電話 /0798-38-8321 FAX/0798-38-8320

MAIL/shigoto@comisapo.com

WEB サイト http://nishi-shigoto.com/

携帯サイト http://nishi-shigoto.com/m/



携帯サイト QR コード